

2018 年度事業報告

事業の概況

認定された公益事業を継続し、着実に実施した。また、協会運営についても、円滑に実施することが出来た。当年度に行った事業の概況は次の通りである。

I 公益目的事業部門

1. 糖類に関する正しい知識の普及・啓発のための事業及び食の安全を基本とした食育推進事業 (公益目的事業1)

(A) 業界最大手(株)ホームメイドクッキングの料理学校を媒体とした普及・啓発事業

全国直営校 81 教室、及び指定校（自宅で料理教室開催）733 教室の内 150 教室、親子料理教室 37 教室の合計延 390,900 名の生徒に対し、当協会が農学博士と共に実施するセミナーや砂糖工場見学会等を通して糖類の正しい知識を理解させた専任講師が、通常の料理教室と食文化講座及び子供向け食育講座等に於いて、全国展開により普及・啓発事業を実施した。啓発の「費用対効果」を確認するため、全職員が各地の教室へ代る代る出張し監督・指導を行い、また教室の生徒へのアンケート調査を実施した。

イ. 東日本直営校 40 教室	延 194,100 名
ロ. 西日本直営校 41 教室	延 168,900 名
ハ. 指定校 733 教室の内 150 教室	延 27,000 名
ニ. 親子料理教室 37 教室	延 900 名

(B) 糖類セミナー事業

- (1) 各都市の地元ラジオ局やテレビ局と連携を取りながら、広く募集告知を行いセミナーを開催。講師（農学博士）と参加者との間で質疑応答や意見交換など、職員が出張、参加して積極的な交流を図ることで糖類に対する正しい知識の理解を促進した。

セミナー終了後にニュース等でもトピックスとして放送、更に啓発効果を高めた。

<開催概要>

イ. 2018 年 6 月 26 日 (火) 金沢市	後援 北陸放送 (MRO)
応募者 180 名 参加者 114 名	アンケート回答者 105 名
ロ. 2018 年 7 月 17 日 (火) 岡山市	後援 山陽放送 (RSK)
応募者 452 名 参加者 123 名	アンケート回答者 121 名
ハ. 2018 年 10 月 16 日 (火) 岐阜市	後援 岐阜放送 (GBS)
応募者 150 名 参加者 112 名	アンケート回答者 111 名
ニ. 2018 年 11 月 22 日 (木) 横浜市	後援 ニッポン放送
応募者 1,200 名 参加者 285 名	アンケート回答者 283 名

- (2) 横浜セミナーに向けて、より深く糖類に関する知識の普及・啓発及び食育の啓蒙を図るため、横浜セミナーの提携ラジオ局の(株)ニッポン放送を通じてオリジナル番組を年間数十回放送し好評を得た。尚、この事業は特定費用準備資金よりの第4回目の糖類セミナー拡大事業（1千万円/年）を含んでいる。

(C) 全国ボウリング公認競技場協議会との提携による普及・啓発事業

誰もが手軽に楽しめて健康増進に役立つ、スポーツ部門の参加率 No.1 を誇るボウリングを通じて老若男女を対象として、普及・啓発事業を実施した。(公財)全日本ボウリング協会(JBC)と連携している全国ボウリング公認競技場協議会(全国の主要ボウリング場オーナーで構成されている)加盟(全国38都道府県所在)の50ボウリング場にて、「砂糖は脳と体に大切なエネルギー」の横断幕

及びポスターを掲出、当会刊行の啓発パンフレット配布を実施した。また、随時職員が出張して検分した。(啓発対象集客数 818,170 名) 来場者へのアンケート調査を実施した。

(D) 全日本小学生ドッジボール選手権大会協賛による普及・啓発事業

未来ある子供達の心身の健全育成を目的とした(一財)日本ドッジボール協会主催、スポーツ庁、(公財)日本体育協会等の後援の全日本小学生ドッジボール選手権、夏季大会に協賛した。全国 47 都道府県で予選を行い代表チームが全国大会〔於、ALSOK ぐんまアリーナ(群馬県前橋市)〕に出場。予選及び全国大会の参加者とその家族及び観衆に対して、職員が出張して普及・啓発事業を実施した。参加チーム数 583 チーム 参加人数 230,000 名(参加者及び父兄)

2. 糖類に関する調査研究活動に対する助成及び糖類に関する公益活動を行う団体への助成事業
(公益目的事業 2)

(1) 「製糖業史研究の新たなアプローチ」

—甘蔗栽培の「季節性」と製糖企業の対応—

フェリス女学院大学国際交流学部教授・製糖業史研究会代表 齊藤 直 氏

上記に対し助成し、種々必要な資料を提供した。

3. 糖類に関する情報の収集、整理、提供事業

(公益目的事業 3)

(1) 資料、情報収集のための学会、シンポジウム参加

〔農学博士 橋本 仁 氏〕

① 国際環状オリゴ糖シンポジウム

1. 開催地 東京都 上智大学

2. 開催日 2018 年 4 月 27 日～29 日

3. 会の内容 4 年に 1 回世界の環状オリゴ糖研究者が各国持ち回りで一堂に会し、研究発表、情報交換を行う会。

② 澱粉研究懇談会

1. 開催地 静岡県伊東市

2. 開催日 2018 年 5 月 24 日～26 日

3. 会の内容 約 150 人の参加者はいずれも産官学の糖質の研究者、事業者などであり、全員が会場に宿泊し研究結果の報告や情報の交換を行う会。

③ 日本環状オリゴ糖シンポジウム

1. 開催地 山梨県甲府市

2. 開催日 2018 年 9 月 4 日～6 日

3. 会の内容 環状オリゴ糖研究者が一堂に会し、研究発表、情報交換を行う会。

④ 日本応用糖質科学会 2018 年度大会

1. 開催地 秋田県秋田市 秋田県立大学

2. 開催日 2018 年 9 月 10 日～12 日

3. 会の内容 多糖類の澱粉から単糖類のブドウ糖に至る糖質に関する産官学の研究者が年に一度会合し、研究発表と情報交換を行う会。

過去の研究実績により学会賞・奨励賞・技術開発賞等が授与される。

4. 学芸員等を含む専門委員会で選定した特定美術品の展示、公開及び官公庁等の美術館への貸出しにより広く国民の文化の発展に寄与する事業

(公益目的事業 4)

- (1) 特定美術品 55 点を島根県安来市加納美術館へ無料で貸出展示。展覧会「名品と出会う」を開催した。
入場者数 2,400 名 (2018 年 4 月 7 日～ 6 月 11 日)
- (2) 特定美術品 39 点を栃木県小山市立車屋美術館へ無料で貸出展示。展覧会「日本近代洋画の名品展」を開催した。
入場者数 3,492 名 (2018 年 7 月 21 日～ 9 月 9 日)
- (3) 特定美術品 35 点を神奈川県湯河原町、町立湯河原美術館へ無料で貸出展示。展覧会「時代の希求～安井曾太郎と同時代の画家たち」を開催した。
入場者数 3,789 名 (2018 年 10 月 4 日～ 11 月 26 日)
- (4) 特定美術品 32 点を展示、所蔵美術品展を当協会館内に於いて開催した。
入場者数 141 名 (2018 年 12 月 10 日～ 14 日)

II 収益事業部門

1. 会館及び施設の管理運営並びに賃貸を行う事業

(収益事業 1)

- (1) 会館の賃貸業務及びビル管理、維持の合理化により更なる経費圧縮に努めて、本事業の費用対効果を高め、これを財源とする公益事業の拡大に努めた。
- (2) 1 階ロビー、ホール、図書室、娯楽室、談話室他諸施設の更なる有効利用を図った。
- (3) 特別修繕積立資産 10 億円を原資として、マイナス金利下、元本保証で 3 百万円以上の金利運用益を創出した。

III 管理部門

1. 講演会の企画、開催

会員の連帯感、教養を高めて公益事業への更なる協力を促す為、また広く門戸を開き関係者の教養を高める為、各業界の著名な講師による講演会を次の通り開催した。

- | | | |
|-------------------------|---|---------|
| イ. 2018 年 4 月 25 日 (水) | 「日本経済の当面の見通しと将来展望」
日本総合研究所 調査部長 | 牧田 健氏 |
| ロ. 2018 年 7 月 19 日 (木) | 「日本のお菓子について」
全国和菓子協会 専務理事 | 藪 光 男氏 |
| ハ. 2018 年 9 月 20 日 (木) | 「世界初！大地震直前予測への挑戦」
東京大学 名誉教授、地震科学探査機構会長 | 村井 俊治氏 |
| ニ. 2018 年 10 月 18 日 (木) | 「萬鉄五郎と糖業協会所蔵絵画の特徴」
萬鉄五郎記念美術館 主任学芸員 | 平澤 広氏 |
| ホ. 2018 年 11 月 27 日 (火) | 「トランプが揺るがす世界と日本」
フリーランスジャーナリスト | 千野 境子氏 |
| ヘ. 2019 年 2 月 21 日 (木) | 「お砂糖と共に歩んだ人生～砂糖の未来～」
洋菓子研究家 | 今田 美奈子氏 |

2. 会報の発行

協会の公益事業や主催行事の趣旨徹底を図るため、会員をはじめ協会の関連団体に向けて発行した。

3. 情報機器による事務の合理化等により、適切な運営、管理を行うと共に、引き続き経費の節減に努めた。

協会運営に関する事項

1. 社員総会

2018年6月20日午前11時より、当協会会議場に於いて第7回社員総会を開催（出席会員295名／総会員数412名）次の議案を付議した。

第1号議案 2017年度事業報告並びに2017年度貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書及び財産目録承認の件

原案の通り承認可決した。

報告事項 2018年度事業計画書並びに収支予算書（正味財産増減予算書）について説明があった。

2. 理事会

当年度中13回開催され、総会提出議案のほか、「公益法人」の事業運営に関する諸案件をはじめとする当協会の主要業務につき審議、決定した。

3. 評議員会

当年度中2回開催され、総会提出議案を審議したほか、重要な会務について報告を受けた。但し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第3章第2節第2款及び第3款に規定する「評議員会」ではない。

4. 専門委員会

(1) 総合企画委員会（委員長 高柳 雄一 氏ほか7名）

当年度中1回開催され、協会保有の資産有効活用に就き審議し理事会に答申した。

(2) 会員選考委員会（委員長 橋本 仁 氏ほか6名）

当年度中2回開催され、正会員の入会申し込み者を選考し理事会に答申した。

(3) 公益委員会〔委員長 岩崎 充利 氏ほか7名（うち2名社外特別委員）〕

当年度中3回開催され、2019年度の公益事業計画・予算を審議し、理事会に答申した。

(4) 行事委員会（委員長 大庭 龍夫 氏ほか6名）

当年度中2回開催され、行事関係予算、協会行事の計画等を審議し理事会に答申した。

(5) 美術品委員会〔委員長 相原 英樹 氏ほか7名（うち、2名社外特別委員）〕

当年度中2回開催され、美術品関係予算、特別美術品の展示、公開、国公立美術館への貸し出し等に就き審議し、理事会に答申した。

5. 登記及び監督官庁への届出事項等

(1) 2018年6月26日、2017年度の事業報告等に係る提出書を内閣総理大臣宛提出した。

(2) 2019年3月28日、2019年度の事業計画書等に係る提出書を内閣総理大臣宛提出した。

6. 会員入退会者数（2018年4月1日～2019年3月31日）

入 会	法人正会員	0社	
	個人正会員	24名	
	個人賛助会員	0名	
退 会	個人正会員	26名	（うち死亡 10名）
	個人賛助会員	5名	

7. 会員数（2019年3月31日現在）

法人正会員	17社	（前年3月末 17社）
個人正会員	392名	（前年3月末 394名）
個人賛助会員	40名	（前年3月末 45名）
会 員 総 数	449名	（前年3月末 456名）

以上